



平成 26 年 8 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社 N・フィールド  
代 表 者 名 代表取締役社長 野口 和輝  
(コード番号：6077 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 代表取締役専務 高木 三愛  
管理本部長  
( TEL. 06-6343-0600)

### <マザーズ>投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

#### ○開催状況

開催日時	平成 26 年 8 月 23 日 (土曜日) 13 : 00 ~ 14 : 00
開催方法	対面による実開催
開催場所	サンセール盛岡 (岩手県盛岡市志家町 1 - 10)
説明会資料名	個人投資家向け会社説明会資料 *平成 26 年中に開催予定の個人投資家向け会社説明会では本資料を共通して使用いたします。

#### 【添付資料】

1. 投資説明会において使用した資料

以上

# 個人投資家向け会社説明会資料

## 精神科に特化した訪問看護

～地域のメディカル・ライフサポーターとして

訪問看護・介護・退院支援の各種サービスをワンストップで提供～



株式会社N・フィールド

証券コード:6077

2014年8月

# 会社概要

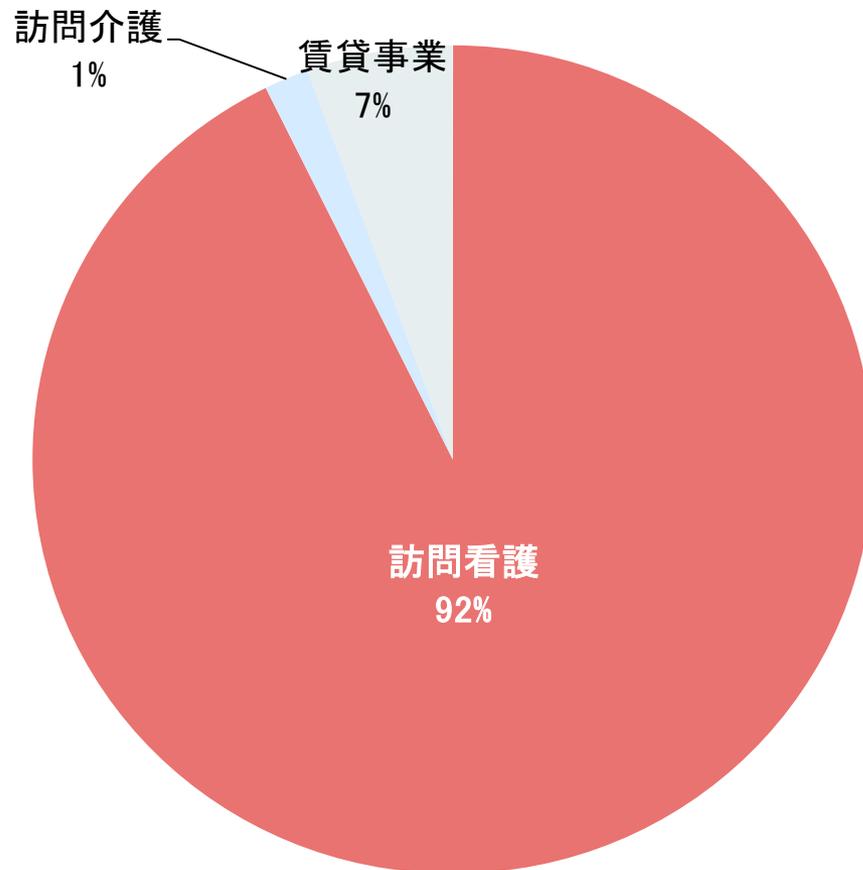
---

# 会社概要

## 会社概要

名称	株式会社N・フィールド
代表者	代表取締役社長 野口 和輝
本社	大阪府大阪市北区堂島浜1-4-4 アクア堂島東館4F
設立	2003年 2月 6日
資本金	5億4,123万円（2014年6月末現在）
従業員数	355人（2014年6月末現在）
事業内容	精神科に特化した訪問看護、訪問介護、 賃貸事業 <small>※賃貸事業とは、退院予定の患者様のため、自社物件利用 及びサブリースの方法により住居確保を行うサービス</small>

## 売上構成(2014年12月期第2四半期累計売上高1,286百万円)



# 沿革

## <医療行政>

医療費抑制のための各種施策:「退院促進」と「在宅医療へのサポート充実」の流れ

精神科医療: 2004年9月「精神保健福祉政策の改革ビジョン」において2015年までに精神病床数7万床削減目標

## 2003年2月 (株)N・フィールド設立

### 訪問看護



2003年3月  
訪問看護ステーション  
デューン開設(大阪)

2010年 8月 デューン札幌開設  
2010年10月 デューン福岡開設  
2010年10月 デューン東京開設

2014年6月末現在  
⇒ 全国60拠点

### 訪問介護



2007年7月  
ヘルパーステーション デューン開設(大阪)

2014年6月末現在  
⇒ 1拠点

### 賃貸事業

医療連携推進部  
(退院支援サービス)

2008年6月  
不動産事業部  
(住宅販売・賃貸事業)新設

2010年12月  
住宅販売から撤退  
賃貸部門を医療連携推進部に

2014年6月末現在  
⇒ 全国3拠点

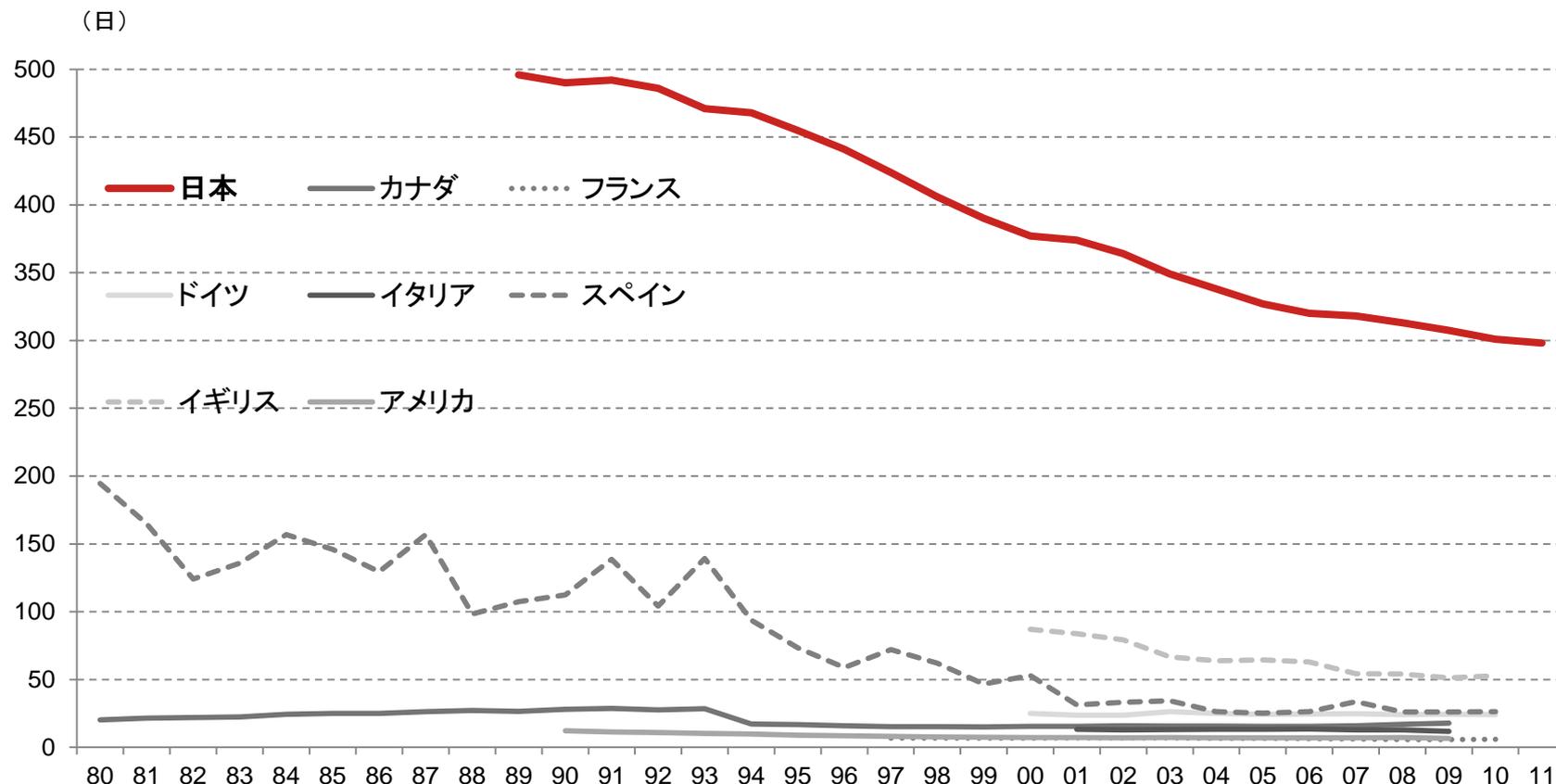
# 日本の精神科の状況

---

# 精神病入院患者の状況

- ・入院している精神疾患患者の平均在院日数はグローバル水準を大幅に上回る

## 精神・行動障害者の平均在院日数

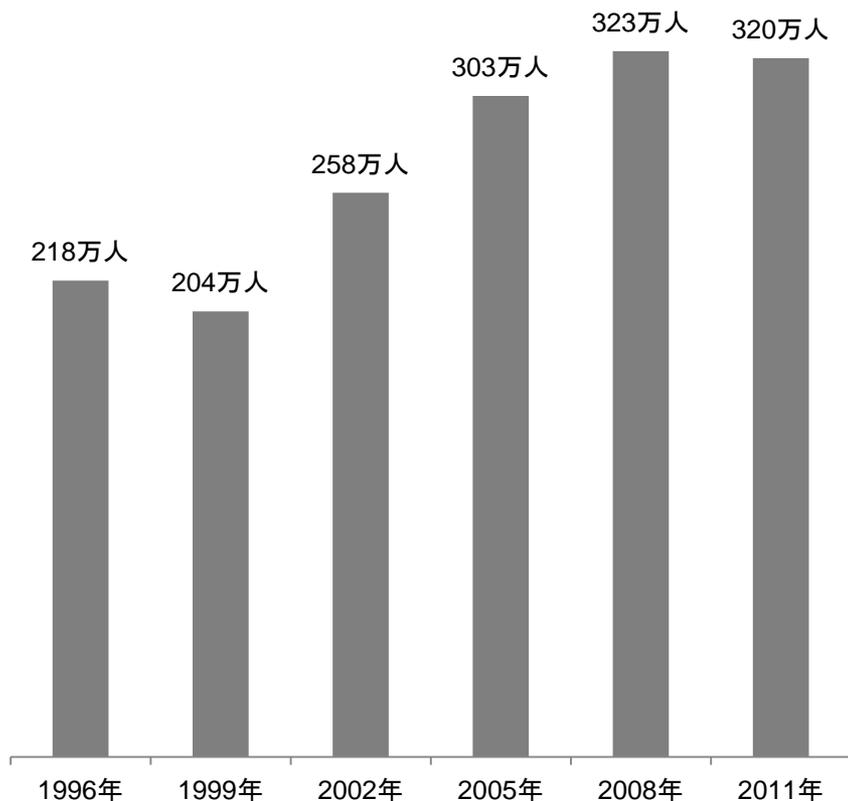


出所: OECD Health Data、厚生労働省「病院報告」

# 精神疾患患者数と精神病床数の推移

- ・受け皿(訪問看護)が整備されておらず、精神病床数削減は厚生労働省の目標に届かない緩慢なペース

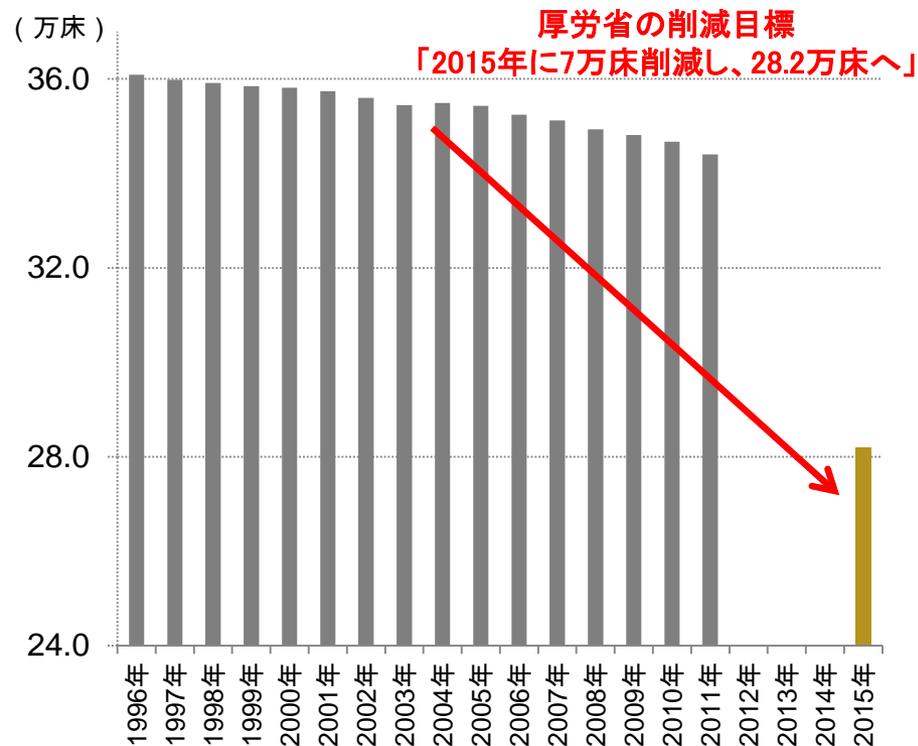
## 精神疾患患者数の推移



注:2011年は宮城県及び福島県の一部を含まない  
出所:厚生労働省「患者調査」

## 精神病床数の推移

厚労省が2004年に精神病床数削減目標を打出したが、受け皿(訪問看護)が未整備なため、減少ペースは緩慢



出所:厚生労働省「医療施設調査(各年版)」

## 当社の事業について

---

# 精神科訪問看護の位置付け

- ・訪問看護は病人を対象としたサービスであり、高齢者を対象とする介護とは異なります。
- ・一般科の訪問看護とは違い、独特のノウハウが必要となります。

	訪問看護	訪問介護
サービスの対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体的・精神的疾患を抱える高齢者、障がい者、その他在宅療養者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者、障がい者</li> </ul>
根拠となる法令	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康保険法、介護保険法、障害者総合支援法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護保険法、障害者総合支援法</li> </ul>
従事する有資格者	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護師、准看護師、保健師</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護福祉士、ホームヘルパー</li> </ul>
ケアの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>「医療行為」を基本に利用者の健康・生活状態全般のケア  <b>利用者が精神疾患の場合には、精神科の経験豊富な看護師が必要に</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活援助： 排泄介助、入浴介助</li> </ul>
利用料(自己負担)	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療保険について1～3割、 介護保険について1割 生活保護受給に関して負担軽減(国による保護)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護保険について1割</li> </ul>



# 訪問看護サービスの主な内容

## 弊社における訪問看護サービスの主な内容

気分の落ち込みやうつ状態など精神状態を把握し、気分転換やリラックス法、コミュニケーションの取り方などを助言します。また、定期的な訪問により、バイタルチェック、服薬の管理、事故防止のケア、生活リズムの調整、社会生活への復帰援助、必要なサービスの活用を支援し、近隣住民、主治医、医療機関、行政機関の担当者との調整を行い、緊急対応も行います。

## 具体的援助内容

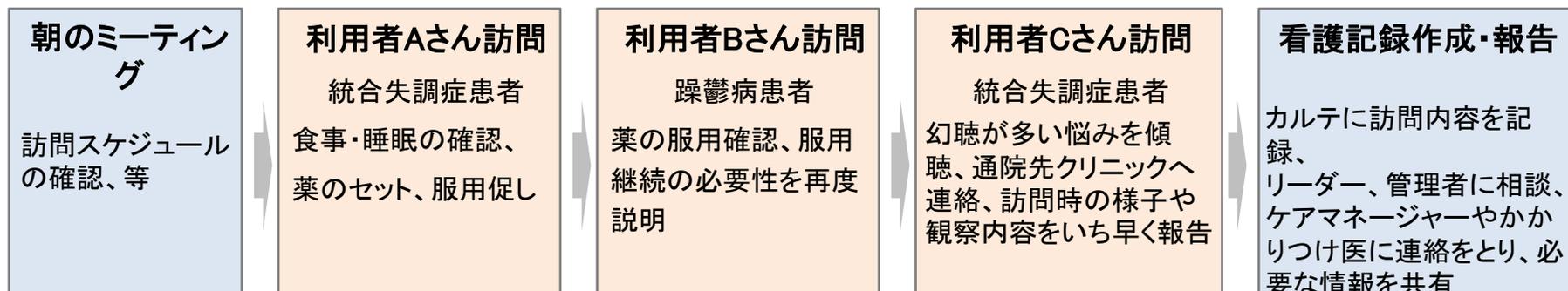
- ✓ 症状のコントロールや治療の継続
- ✓ 家族関係の調整
- ✓ 対人関係の相談
- ✓ リフレッシュへの援助
- ✓ 日常生活の援助
- ✓ 家族の悩み事や不安の解消
- ✓ 社会資源の活用援助
- ✓ 今後の生活設計などに関する相談

# 訪問看護 業務内容

## 利用者

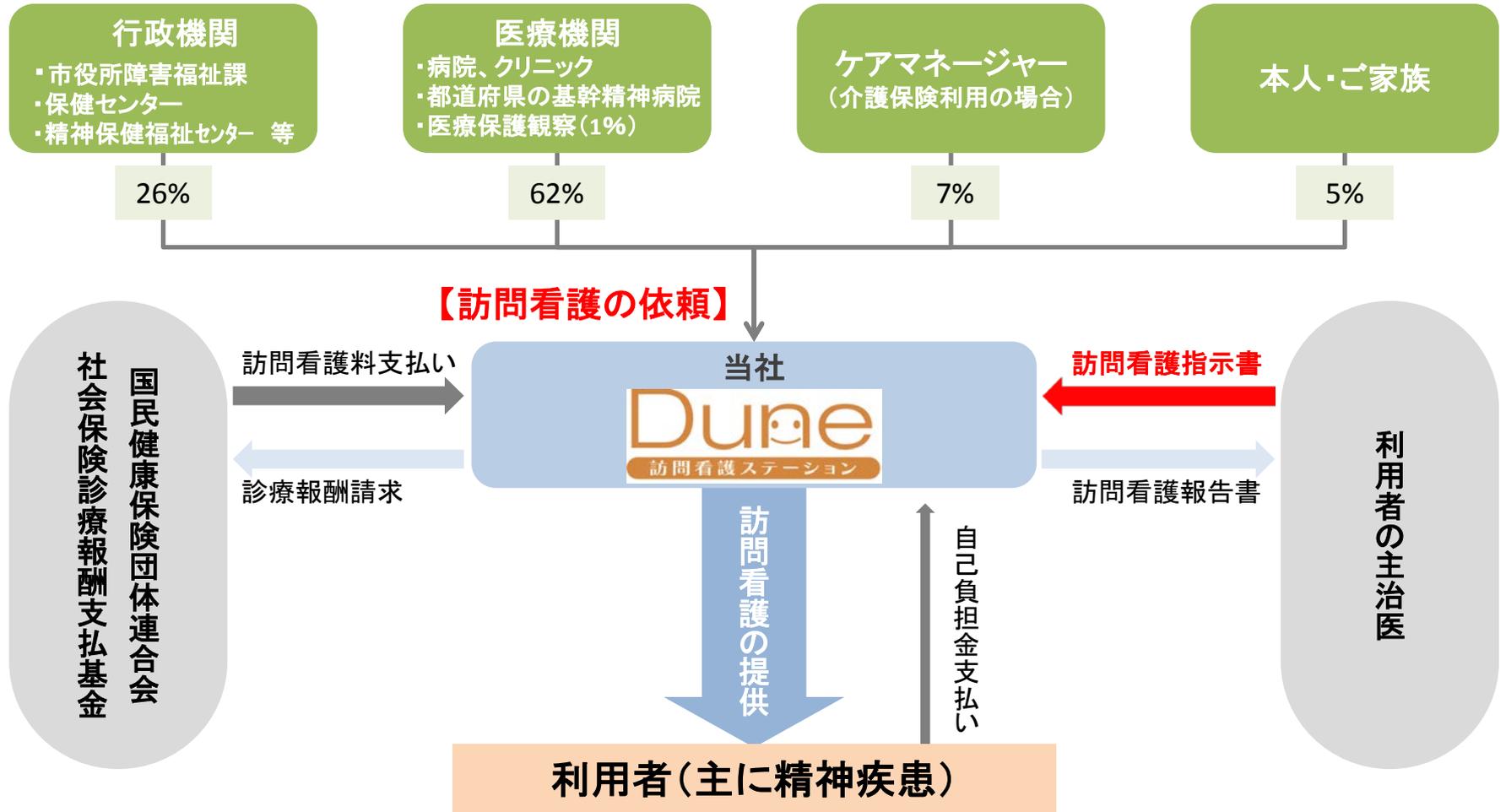
精神疾患の種類	統合失調症、うつ病、双極性障害(躁うつ病)、器質性精神病、神経症性障害、人格障害、発達障害、知的障害、アルコール・薬物依存症、認知症、など多種多様
利用者の特徴	治療が長期に及び定期的な服薬・治療が必須だが、利用者に「病識」が乏しく服薬中断などで病状が悪化するケースが多い。 単身生活者が多く、治療の継続と安定した生活を維持させるためには医療関係者の見守りとケアを必要とする。

## 訪問看護師の一日の業務



# 訪問看護ビジネスフロー

行政や病院は、当社の実績を元に訪問看護の依頼(利用者の紹介)をしてくる傾向が強い



# 当社のサービス(事業)

当社は、在宅医療・介護・退院支援のためのサービスをワンストップで実施

訪問看護をメイン事業としたワンストップサービス



訪問介護

通常の高齢要介護者向け介護に加え、精神障害者に対する訪問介護も提供

拠点は大阪の1拠点

賃貸事業(医療連携)

退院支援のためのサービス ⇒ 訪問看護利用者へ

- 入院患者が社会復帰し、新しい住まいを見つけることは非常に困難
- N・フィールドは自社及び賃貸物件への入居をサポート
  - ・自社物件への入居
  - ・家主とN・フィールドが賃貸契約し、転貸
- 入居後も訪問看護サービス等と連携し、毎日の暮らしをサポート

東京・大阪・福岡の3拠点

## 主要データの推移

---

# 全国17都道府県に60拠点(事業所34、営業所26)

平成25年12月末

	事業所	営業所	合計
北海道	1	—	1
宮城県	1	1	2
東京都	5	5	10
千葉県	2	—	2
埼玉県	3	—	3
神奈川県	1	—	1
合計	13	6	19

	事業所	営業所	合計
愛知県	1	1	2
大阪府	7	1	8
広島県	1	—	1
福岡県	3	—	3
熊本県	1	—	1
宮崎県	1	—	1
鹿児島県	1	—	1
合計	15	2	17



平成26年6月末

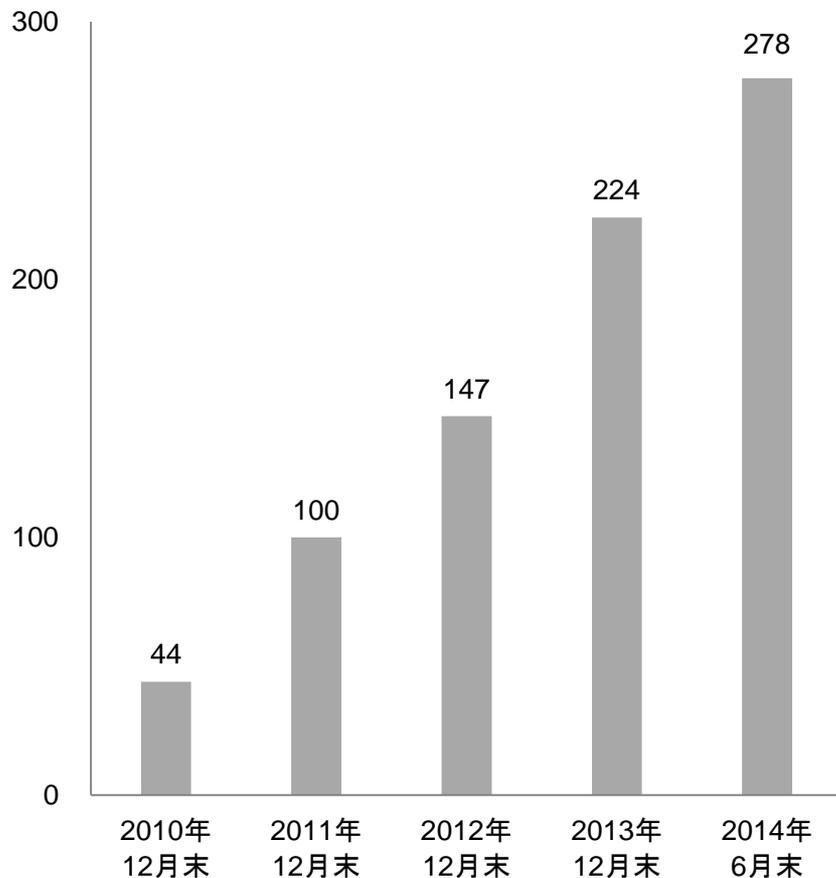
	事業所	営業所	合計
北海道	1	—	1
宮城県	1	1	2
東京都	5	19	24
千葉県	2	—	2
埼玉県	3	—	3
神奈川県	1	—	1
合計	13	20	33

	事業所	営業所	合計
愛知県	1	1	2
大阪府	7	5	12
京都府	1	—	1
奈良県	1	—	1
岡山県	1	—	1
広島県	1	—	1
福岡県	5	—	5
佐賀県	1	—	1
熊本県	1	—	1
宮崎県	1	—	1
鹿児島県	1	—	1
合計	21	6	27

# 看護師数及び利用者数の推移

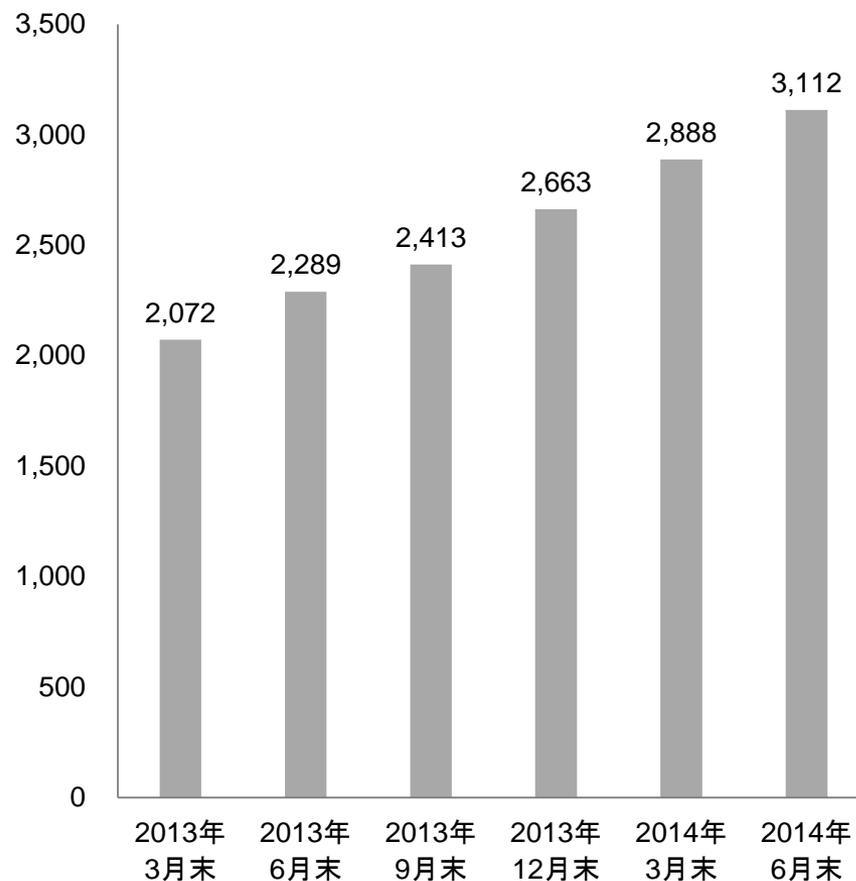
## 期末看護師数の推移

(単位:人)



## 利用者数 四半期推移

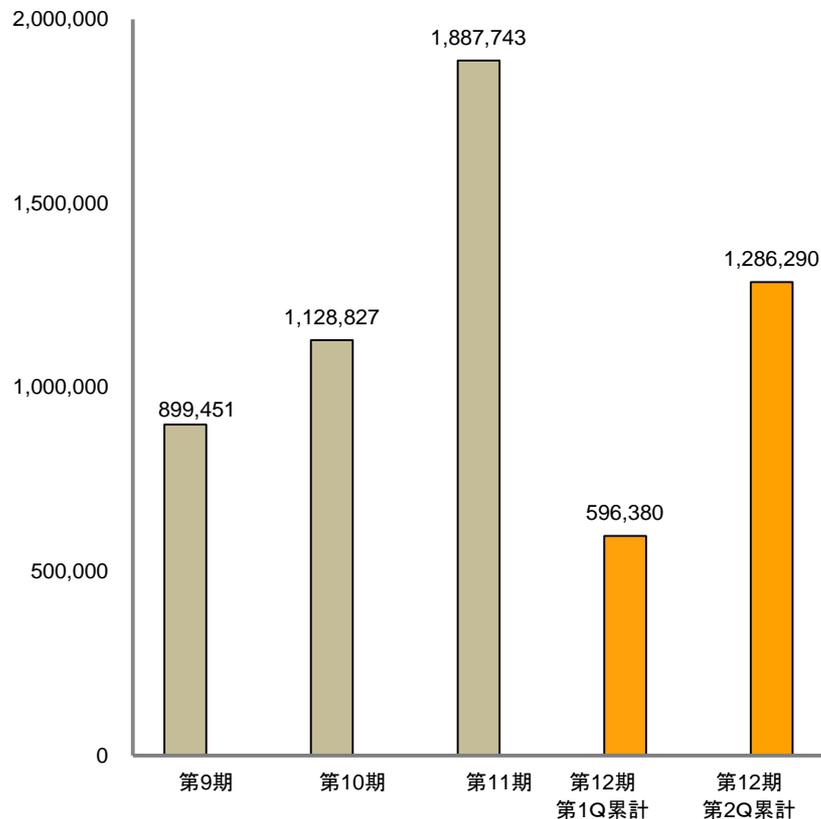
(単位:人)



# 売上高及び資産項目の推移

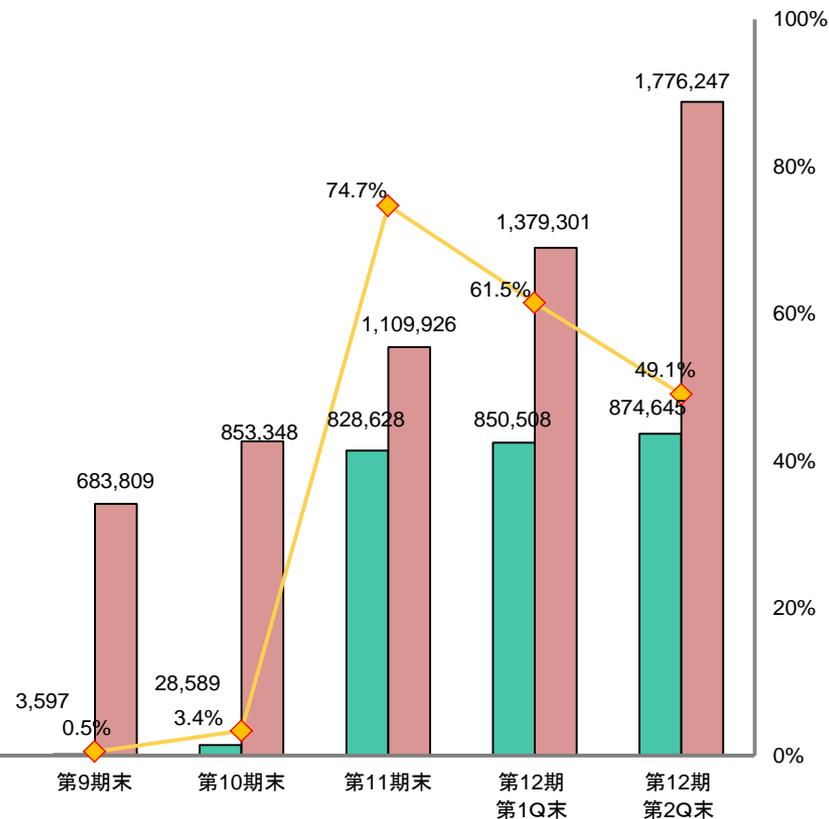
## 売上高

(単位: 千円)



## 純資産額・総資産額・自己資本比率

自己資本比率



過去売上高(左軸)
  今期売上高(左軸)
  総資産(左軸)
  純資産(左軸)
  自己資本比率(右軸)

## 2014年12月期 第2四半期実績

---

# 2014年12月期 第2四半期累計期間 損益計算書【前年同期比】

(単位:千円)

	2014年12月期 第2四半期累計期間		2013年12月期 第2四半期累計期間		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	1,286,290	100.0%	807,456	100.0%	+478,833	+59.3%
営業利益	106,476	8.3%	57,736	7.2%	+48,740	+84.4%
経常利益	103,454	8.0%	50,323	6.2%	+53,130	+105.6%
当期純利益	36,839	2.9%	38,963	4.8%	▲2,124	▲5.5%

# 2014年12月期 第2四半期累計期間 損益計算書【計画比】

(単位:千円)

	2014年12月期 第2四半期累計期間				計画値	
	金額	構成比	増減額	増減率	金額	構成比
売上高	1,286,290	100.0%	+39,229	+3.1%	1,247,060	100.0%
営業利益	106,476	8.3%	+13,555	+14.6%	92,920	7.5%
経常利益	103,454	8.0%	+13,046	+14.4%	90,407	7.2%
当期純利益	36,839	2.9%	+7,867	+27.2%	28,971	2.3%

## 2014年12月期 通期計画

---

# 拠点数、看護師数、利用者数【通期計画】

平成26年6月末現在

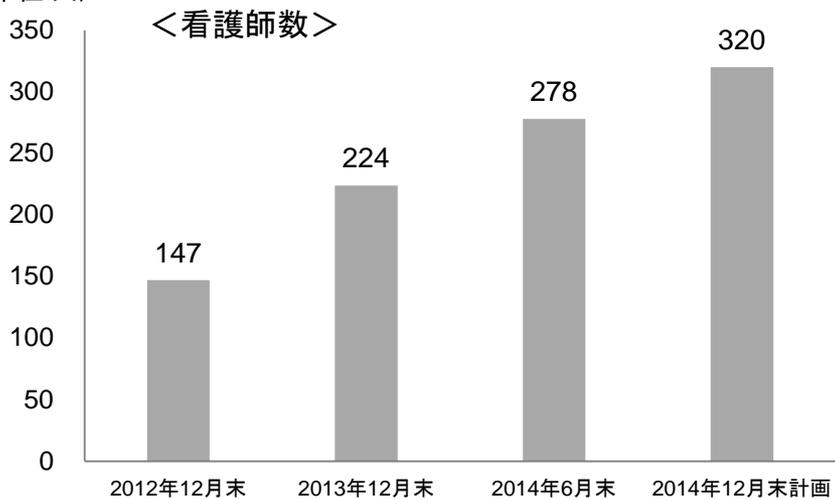
	事業所	営業所	合計
北海道	1	—	1
東北	1	1	2
関東	11	19	30
中部	1	1	2
関西	9	5	14
中国	2	—	2
九州	9	—	9
合計	34	26	60



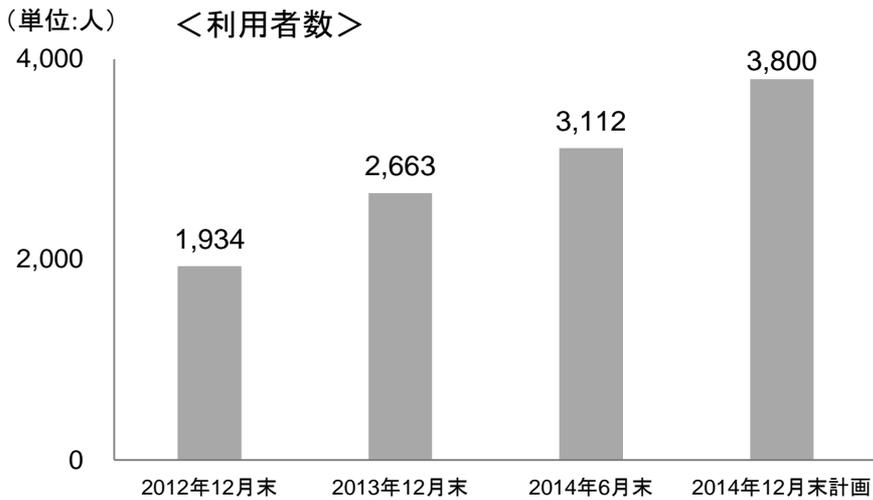
平成26年12月末(計画)

	事業所	営業所	合計
北海道	1	—	1
東北	<b>2</b>	1	<b>3</b>
関東	<b>13</b>	19	<b>32</b>
中部	1	1	2
関西	9	<b>7</b>	<b>16</b>
中国	2	—	2
九州	9	—	9
合計	<b>37</b>	<b>28</b>	<b>65</b>

(単位:人)



(単位:人)



# 2014年12月期 損益計算書【通期計画】

(単位:千円)

	2014年12月期(計画)		2013年12月期(実績)		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	3,045,233	100.0%	1,887,743	100.0%	+1,157,489	+61.3%
営業利益	441,739	14.5%	204,712	10.8%	+237,027	+115.8%
経常利益	426,027	14.0%	178,084	9.4%	+247,942	+139.2%
当期純利益	214,514	7.0%	189,568	10.0%	+24,945	+13.2%

## 今後の事業展開

---

# 各事業の取り組み

## 訪問看護



2014年6月末時点で60拠点。今後も拠点数拡大を図る。

## 訪問介護



大阪府内で1拠点。現体制を継続する方針。

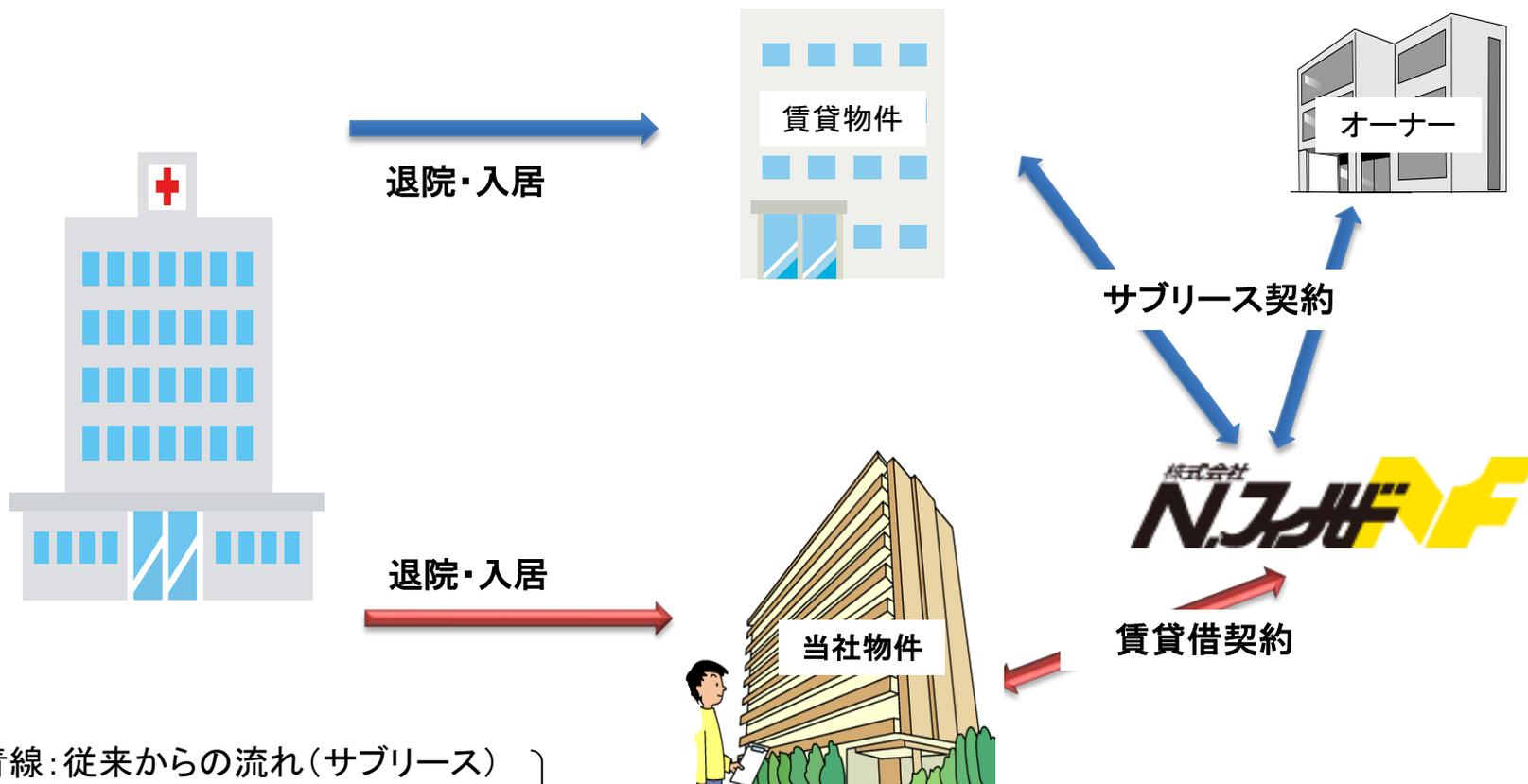
## 賃貸事業

医療連携推進部  
(退院支援サービス)

ワンルームマンションを所有しての入居サービスを開始。

# 自社物件所有による新たな取り組み

従来から行っているサブリースだけでなく、自社物件への入居を併用することで、よりスムーズな退院支援サービスを提供



〔 青線: 従来からの流れ(サブリース)  
赤線: 新たな取り組み 〕

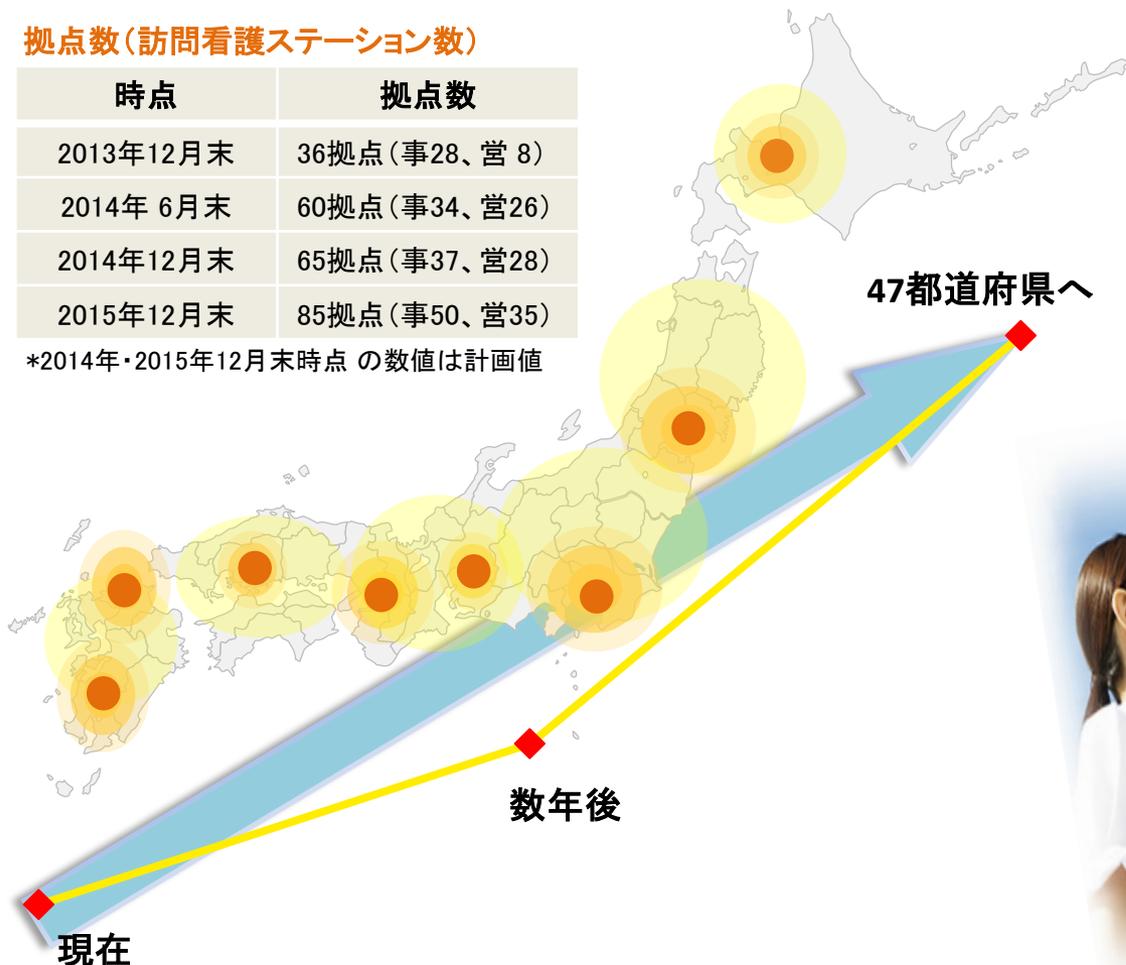
# 今後の拠点展開と当社の使命

※全国47都道府県への出店を目標に拠点数拡大を図る

拠点数(訪問看護ステーション数)

時点	拠点数
2013年12月末	36拠点(事28、営8)
2014年6月末	60拠点(事34、営26)
2014年12月末	65拠点(事37、営28)
2015年12月末	85拠点(事50、営35)

\*2014年・2015年12月末時点の数値は計画値



私たちN・フィールドの看護師は、その誇りを胸に、専門力・対応力・連携力を駆使し、在宅医療サービスを通じて、安全・安心・快適な生活環境を創造していきます。

私たちのサービスを待つ方々のためにも全国にサービス網を展開し、地域社会に貢献することこそ、私たちの使命です。



## 経営理念

私たちは、地域社会における在宅医療サービスを通じて、安全・安心・快適な生活環境を創造し、人々のライフプランに貢献します。

## 行動指針

いついかなる時も人として良識と倫理観を持ち責任ある行動をとります。

- ①利用者様最優先：常に利用者様を第一に考え、迅速に対応いたします。
- ②地域密着：地域社会と連携できるよう、自分の目と耳で確かめます。
- ③プロ意識：すべてのサービスにおいて最高水準を目指します。
- ④チャレンジ：新しいことに積極的に挑戦し、自己改革に取り組みます。
- ⑤社会奉仕：社会奉仕の精神をもって、地域と良好な関係を築きます。

# 本資料に対するお問い合わせ先



経営企画室 TEL: 06-6343-0600

FAX: 06-6343-0601

HP: <http://www.nfield.co.jp/>

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスク及び不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

